

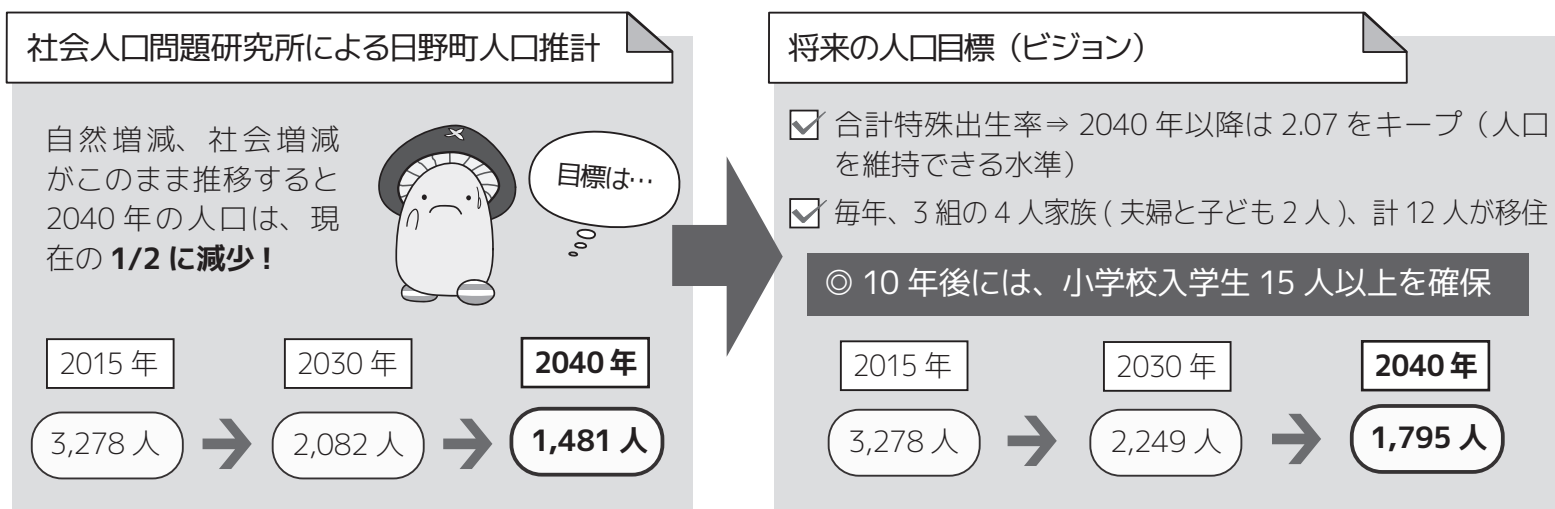
— 2040年の人口目標達成を目指して—

第2次 きらり日野町創生戦略

日野町では、平成26年11月に施行された「まち・ひと・しごと創生法」のもと、「きらり日野町創生戦略」を策定し、平成27年度から令和元年度までの5か年間で人口減少、少子高齢化をはじめとする大きな課題に向かって取り組みを進めてきました。まだまだ課題は多く残っており、今後さらに厳しい局面を迎えることが予想されます。

このたび、令和2年3月に「第2次きらり日野町創生戦略」を策定しました。令和2年度から6年度の間、新しい視点を加えながら取り組みを継続していきます。

CHECK 「将来の人口目標（ビジョン）」達成を目指します。



日野町の人口がそのまま減少すると、2040年には人口が1,481人まで減少してしまいます。町では、町民の皆さんの生活と安心を守り、活力ある日野町を維持するため「将来の人口目標（ビジョン）」達成を目指します。

CHECK 「第1次きらり日野町創生戦略」の総括

本目標の進捗状況について、平成30年度末時点で全5項目中「計画通り」が2項目、「やや遅れている」が3項目でした。「やや遅れている」として「子育て・教育」「まちづくり」「保健医療福祉」が挙げられており、第2次戦略においても引き続き取り組みを続けていきます。

移住・定住	子育て・教育	産業・雇用	まちづくり	保健・医療・福祉
計画通り	やや遅れている	計画通り	やや遅れている	やや遅れている

CHECK 1 「第2次きらり日野町創生戦略」における新たな視点

令和2年3月に、「第2次きらり日野町創生戦略」を策定しました。第2次戦略では、次の新たな視点を加えた施策を推進します。

- ▼人口減少社会における集落及び生活機能の維持
- ▼誰もが安心して暮らせる災害に強いまちづくり
- ▼関係人口など新たな人の流れの強化
- ▼SDGs（※）など、新しい時代の流れを力にする
- ▼地域の将来を担う人材の育成
- ▼地域を担う民間団体との協働
- ▼誰もが活躍できる社会づくり



※SDGs（持続可能な開発目標）とは

先進国、開発途上国を問わず、世界全体の経済、社会及び環境の3側面における持続可能な開発を統合的な取り組みとして推進するもので、17のゴール(目標)、169のターゲットが設定されています。この多様な目標を追求することが地域の諸課題を解決することにつながり、地方の持続可能な開発、すなわち地方創生を推進することになります。(内閣府HPより抜粋)



▲SDGsのアイコン

CHECK 1 「第2次きらり日野町創生戦略」の理念と期間

2030年、2040年と人口が減少していく中でも、人と人とのつながりを大切に、生きがいをもって、安全で安心して暮らせる“まち”をつくります。暮らしている人たちが「住んで良かった」と思えるまち、将来を担う子どもたちが誇りを持って未来へ引き継いでいけるまちを目指すために、各種事業や施策を実施するうえで、常に念頭に置くべき本町の地方創生の基本となる視点として、次の4つの視点を掲げます。

地方創生の基本となる視点

- ①若者・子どもが住む未来へつながる持続可能なまち
- ②住民が生きがいをもって自ら考え実行する住民主導のまち
- ③地域資源を活用した賑わいのあるまち
- ④みんなの笑顔が光る安心安全なまち

この4つの視点を念頭に、7つの分野について重点的に取り組みます。

地方創生のために取り組む分野

- 集落機能の維持
- 子育て・幼児教育
- 学校教育・社会教育
- 産業・雇用
- まちづくり
- 保健・医療・福祉
- 防災・減災

創生戦略の期間は2020年度～2024年度（令和2年度～6年度）までの5年間とし、2040年の人口ビジョン実現のため、7つの分野での数値目標達成を目指します。

◆次ページでは、取組内容について説明します。